
BURN!


BURNING!!
Harukaze Soyogu


ザァァァ
んっ
あっ
ぶるっ
不覚
またしてしまった
ここんとこ
出撃続きで
たまってた
かなぁ


わっ…!
ちょっ…シン?
あんたいつの間に…
やだ…
放してよぉっ
だめ
ほんとに
今日はもう疲れてるから
あっ
こらぁ…
ちょっとここ座れ!!


ったくも～
この子はぁ
一発ヌいて
おとなしくさせて
帰らせようと…
ちゅぷっ
ちゅぱっ
ちゅぱっ
ちゅ
ん
あ
ルナ
すっげ
いい


ふぃん・
ひもひい…?
ふぇあいほー…っ
あ
ま
ん
くす…
そんな素直な子には
お姉さんがもっとサービスしてあげちゃお一♪


ねーシン
私のムネーどう？
どんな感じー？
どう
あったかくて
やわらかくて
ちょっと
もどかしいけど
じゃ
こんなのは？
しゅっ
しゅっ
しゅっ
しゅっ
あ
出
あ
出る
あっ
ふあああ
あ
あ
あ


はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
シン
アスランと
何かあった…?
なんで
いきなり
何もないよ!
あるわけないだろ!
ホント
かなぁ?
ちゅぷ
あ…や


だめぇ
やめて シン
いやぁ
あぁ
あ、
はぁ
挿入ないで
あ
わ ルナのクリトリス もうこんなカチカチだ
ひゃ あ
やぁ クリ――!
いじら・ないで!
いひっ
ひあぁぁ――!
はぁ
はぁ
はぁ
う
あぁ
ぬるるるぅぅ


ひぃっ
っあぁ
ふぁあぁ
ひぅーッ！
ひゃんッ
ふあぁあぁ
ルナ…
俺のをしゃぶって感じてたろ…？中までグショグショすぎ…
違うもん…！
も…やめて…
お願い…だから…
シン…


嫌だね
ギュッ
はうっ
こんなルナ見るの初めてだもんな
やあっ
そんなおっぱい
ルナぁ
俺もぉ
あ
は
ふぁ
おは
ぬぢゅっ
ずぷっ
ぶぢゅっ
ぬぷっ
ふぁ
はっ
ふん
あー



くぅ
あッ…!!!
やあぁぁ
あつ いの…
でてるぅ…!!
ルナ…
気持ち… よかった…?
アスランの方が ステキだったかなぁ……
優しいし… テクもあるし…
寝たのか… あの人と
だったら どうする ?

ウソ
私が好きなのはシンだけよ
ちょっと意地悪言ってみたくなったの……
だってシンがあんまり強引だから…
士官学校の頃から私が抱かれたのはあんただけなんだから……
でも あの人実際どうなのかなァ MSや銃の扱いは上手いけど
一度お願いしてみよーかな！
ルナ〜っ
冗談だってばすぐ本気にとらないでよお
それより私…全っ然中途半端なんだから





あ…
あ…
あは
はぁ
はぁ
ぐちゅうう
動くよ
ルナ
ンんんッ
アーン
待って
激すぎだよぉ
ぬぷっ




はあっ
はあっ
ふあぁ
はぁ
や
あッ あぁー
きもち
いーよお シーン
も しんじゃっ
あ ああ
ぢゅっぷ
ぢゅっぷ
ぢゅっぷ
ぢゅっぷ
ヤッ
ふあぁ そんなにらんぼーに しないで
ルナってホント ムネ弱いよね
こうすると下の方も キュウって締まって――
はあっ
はぁ
はぁ
はッ・はッ・はぁッ 俺…もう出すよ…! またルナの膣内に…!!!
ぱぢゅ ぱぢゅ
ぱぢゅ ぱぢゅ
あッ あんっ
はぁあ い いいよ シン シンの精液 全部出して 私の膣に出してぇっ!!!


あっ
はぁぁぁ
ひィ……あっっ
あぁん
ふあぁ…
また…出てる…



ヴィーッ ヴィーッ
コンディション・イエロー！
A35警報発令！
総員第二種戦闘配置に
ついて下さい!!
MS搭乗員は
待機要員も含め全員
ブリーフィングルームに
集合して下さい
大変！
ほらっ
シン
あんたも早く
支度しなさい！
状況が解決したら
またするんだから
ケガしたり
死んだり
しないでよね！
やっぱ
かなわないな
ルナには
って・
女の着替え見て
ニヤついてないで
さっさとしろ!!
バキッ!!
いてぇ…

BURNING!!

HAR

ADULT ONLY

